

Kanagawa Institute of Technology [カイト]
神奈川工科大学広報誌

CONTENTS

- 1 KAIT施設特集
- 3 日々の学生生活を支える学生サポート
- 5 KAITのキャリア教育インターンシップ
- 6 教職支援・卒業生教員インタビュー
- 7 KAIT研究室訪問／演習・ユニット授業を訪問
- 9 海外研修・留学プログラム
- 10 学生の活躍／教員の活躍
- 11 News&Topics／着任の挨拶
- 13 大学からのお知らせ／2026年度学年暦
- 15 ITを活用した教育研究シンポジウム2025／
令和7年度卒業式・令和8年度入学式挙



KAIT 施設特集

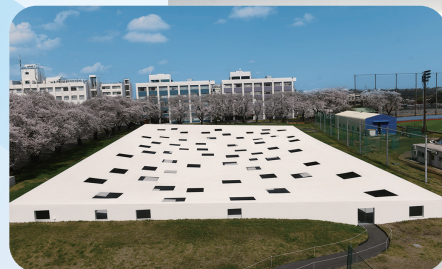
私たちの『推し施設』を
紹介します！

広いキャンパスと充実した施設が自慢の
神奈川工科大学。
普段の学生生活の中で学生たちは、どの施設や
スポットを利用しているのでしょうか？
「推し施設」を聞いてみました。

KAIT広場

広々とした緩やかな斜面の不思議空間！
CMやミュージック・ビデオ等の撮影にも使われているKAIT自慢の施設です！

爽やかに抜けていく
風が気持ちいいです！
天井の四角い穴から
見える景色が好きです。



KAIT広場外観



KAIT工房

さまざまな工作機械が使って、陶芸もできる！
ものづくりが好きな学生に人気の施設です。
また、「課題」や「研究」の部品作り
でもよく利用されています。

レーザー加工機で工作用
の部品作りをしています。
指導員の方にも教えて
もらえるんですよ。



KAIT工房外観



<協力>小中高生を対象にロボット製作の授業を行っている学生団体「KAIT EDTC」の皆さん

附属図書館

約25万冊を所蔵し、約650
の閲覧席を完備。世界中の
科学技術分野に関連した文
献の検索が可能。1階のくつ
ろげるスペース「HUG」は学
生に大人気です。

静かに集中して課題に
取り組むために利用します。
2階フロアにはテレキューブ※も
あります！



※テレキューブ：防音の個室。オンラインミーティングや就職面接の
練習などで利用されています。



HUGには
LOVOTも居ます！



LOVOTサークルの学生が
お世話をしています。



中央緑地公園

講義室への移動で通るだけじゃない！天気の良い日
はガーデンパラソルの下で豊かな自然を感じてお弁
当を食ったり、懇談をする学生で賑わいます。

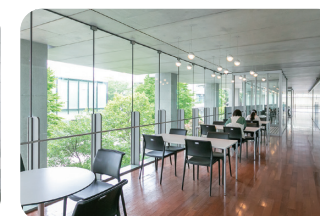


日替わりでキッチンカーが
出店します。
夏は芝生が気持ち良くて、
テーブル席はいつも人気があります。



フリースペース

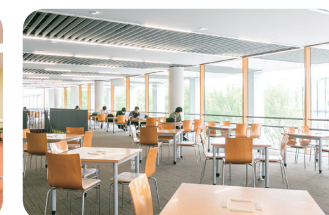
各実験棟・講義棟には自習などで自由に使うことが
できるフリースペースがあります。



トレーニングルーム



全学生、教職員が利用できるスポーツ施設で
す。筋トレブームで大人気！



日々の学生生活を支える 学生サポート

本学では、学生が心身ともに健康で充実した学生生活を送ることができるよう、大学全体で協力をして、きめ細やかなサポートを行っています。

学内サポートについて、この春に入学したばかりの1年生に先輩が紹介します。

Q

入学後のガイダンスで、いろいろな学生サポートがあることを聞いたのですが、高校には無かったので、まだよく理解していません。「学生相談室」と「学生サポート室」の違いや、どんなときに相談に行けばいいのか教えてください。

A

落ち込んで眠れないとか、辛いことがあったとか、メンタル面のことは「学生相談室」で話を聞いてもらうのがオススメ！学修面や生活面のことで困ったときには「学生サポート室」で、どうすればいいかを一緒に考えてもらえるよ。相談できる場所があるって知っているだけで、安心できると思う。



山隈 京祐さん
情報学部
情報システム学科1年



大久保 斗希さん
情報学部
情報システム学科1年



番倉 萌さん
情報学部
情報システム学科3年



大谷 祥太さん
情報学部
情報メディア学科2年



青沼 克樹さん
情報学部
情報システム学科2年

学生相談室

1人で悩まずに相談を。「心の成長」をサポートします！

学生相談室では、学生の皆さんが健やかな学生生活を送れるように、公認心理師・臨床心理士とメンタルヘルスアドバイザー（精神科医）がカウンセリングやグループ活動など幅広いメンタルケアを実施しています。

大学生の年代は、対人関係に過敏になったり、抑うつ的な感情や眠れなかったりということもよくあります。自分自身について考えたり、学業や経済的な不安で悩んだりもします。だから、「こんなことで学生相談室に行ってもいいのかな？」と思わずに、**どんなときでも相談に来てください。**たとえば、なんだか大学に行く気がおきない、やる気がおきない、人間関係に疲れてしまった、一人暮らしが寂しい、ジェンダーの悩みなど。最近では、オンライン上でのトラブルや悩みなども増えています。どんな内容であっても、悩んでいることには違いありません。相談室でお話した内容は、ご本人の了解なしに第三者へ話すことはありません。1人で来る勇気がでないときには、先生や友達、親御さんと一緒に来ていただいても結構です。相談内容に応じて、本人の了解を得た上で、学生サポート室や健康管理室など、学内のさまざまな部署と連携して支援していきます。

また、学生相談室では、ご父母の皆さまからのご相談も受け付けています。電話やメール、zoomで、またご本人が来られないときには、親御さんだけでもご相談ください。



個室も完備されている学生相談室



Information

開室日 月曜日～金曜日
＊長期休暇期間も開室

時 間 9:00～17:30

場 所 K2号館 3階 1306

TEL:046-291-3038
Mail:sodan@kait.jp

学生サポート室

(キャンパスライフ相談窓口・
障害学生支援)

学生生活の充実に向けて全力でサポートします！

学生サポート室では、学生の皆さんが、より充実した大学生活が過ごせるように、**学修面、生活面のアドバイスを通じて学生生活をサポートしています。**たとえば、成績不振や勉強のスケジュール管理で困ったことはありませんか？私たちは困っていることを丁寧にお聞きして、その内容を整理し、一人ひとりに応じたアドバイスをしています。私たちは、学生さんが自律した行動ができるよう、主体性を育てていくような関わり方を心がけています。今後の学生生活に見通しを持ち、**一番はじめにすべき事は何か、これから何をすればよいのかを、一緒に整理しながら考え、自律した学修者としての成長をサポートしていきます。**

来室する学生さんは、単に「やる気が出ないからできない」ということだけでなく、学修面や生活面の悩みの背景に、心理面、健康面などの原因がある場合も多くあります。そのため私たちは、学生相談室や健康管理室、基礎教育支援センターなど、**他部署と連携して情報を共有しながら、その学生さんにとって一番良い支援を考え、大学生活を支えています。**支援の内容によって、担任や学科の先生、ご家族に支援の輪に入っていくこともあります。また、ご家族からお子さんに関する心配ごとの相談も受け付けています。

学生サポート室には、障害学生支援のコーディネーターも在籍しており、障害のある学生さんへの合理的配慮やサポートに対応しています。



オープンな雰囲気学生サポート室



パーテーションで仕切られた相談ブース

Information

開室日 月曜日～金曜日

＊長期休暇期間も開室

時 間 9:00～17:00

場 所 K2号館 3階 1305

TEL:046-291-3106

Mail:support@kait.jp

基礎教育支援センター

学修面のサポートも充実しています！



個別にすぐわかりやすく
教えてもらえます。

基礎科目で自信がない時もあるので
困ったときには利用してみたいです。



基礎教育支援センターは、高校の学習範囲を大学内で学ぶことができるセンターで、全学生が予約なしで利用できます。対応しているのは、数学・物理・化学・生物・英語といった基礎科目と文章の書き方です。**主に高校での学習範囲から専門基礎科目の入門部分までを、ベテラン教員が個別指導で丁寧にサポートしています。**

大学で学ぶ上で、高校での学習は重要な基礎となりますが、高校での履修の仕方は人それぞれですし、苦手な科目もあります。ここではそういった科目を、**個別で学べるので分かりやすく、大学での専門分野の学びが理解しやすくなります。**

Information

開室日 月曜日～金曜日

時 間 11:00～18:00

場 所 KAIT ホール2階

TEL:046-291-3259

Mail:su@mlst.kanagawa-it.ac.jp

先輩学生によるサポート KAIT pia

情報学部棟1階の「KAIT pia室」にて授業で分からない部分や勉強方法、学科のことなど「神奈川工科大学の学生なら当たり前のように誰でも支え合い助け合う」ことをモットーに、先輩学生がサポートを行っています。



職場での体験を通して、将来の方向性を見つける

KAITのキャリア教育

インターンシップ

神奈川工科大学では、多くの企業や地域の協力のもと、企業の課題解決や職場体験による「インターンシップ」を実施しています。就職活動への大きなヒントになることから、キャリア就職課では多くの学生が参加できるよう積極的に支援を行っています。

インターンシップで得られること

興味のある業界や職種の職場を実際に体験することで、働くことへのイメージが鮮明になります。また、仕事の現場で求められる力を実感することで、自分の強みや適性についての理解が深まり、将来の方向性を見つける手がかりにもなります。

本学が実施している
インターンシップ(単位認定あり)は下記の3つです。

課題解決型インターンシップ

対象 1年生～3年生

*学生チームで企業課題に取り組む
本学独自のプログラムです。

インターンシップ 1

対象 2・3年生

企業などでの3日間の就業体験

インターンシップ 2

対象 2・3年生

企業などでの10日間以上の就業体験

また、半日から1日で実施される「オープンカンパニー(会社見学)」(単位認定の対象外)も様々な企業で行われています。また、大学を通さずに自分でインターンシップ先を探す学生も増えていて、自ら動くことで視野が広がります。

インターンシップのための研究会を実施

5月16日と30日に「インターンシップのための研究会」を学内の講義棟にて実施しました。当日は、多くの企業や団体の人事担当者に本学にお越しいただき、1年生～3年生までの多数の学生が参加しました。インターンシップのために、多くの企業の人事担当者と対面で相談ができる貴重な機会であり、本学ならではの取り組みです。



インターンシップの最近の傾向

インターンシップの期間に関わらず、多くの企業が選考の一環として位置付けています。また、学生側もインターンシップに参加した後、その企業の選考を受けるというケースが主流になってきています。実際にインターンシップへの参加をきっかけに、早期選考の案内が届き、就職活動に取り組む学生が増えています。一方で、「想像していた仕事と違う」と感じるケースもあるので、インターンシップは自分のやりたいことと仕事のミスマッチを防ぐ貴重な機会でもあります。



参加までの流れとフォローアップ体制

オンデマンド動画で、参加までの手順や申し込み方法を説明しています。加えて、キャリア就職課や各学科の就職事務室では、インターンシップ求人の紹介や相談を行っています。「どの企業を選べばよいかわからない」、「企業が多くて決められない」といった相談に、対面で一人ひとりの興味や将来の希望をもとに企業選びをサポートしています。ほかにも「インターンシップのための研究会」を実施し、受け入れ企業を広く知る機会を提供しています。

神奈川工科大学の教職支援

～充実した支援と実績～

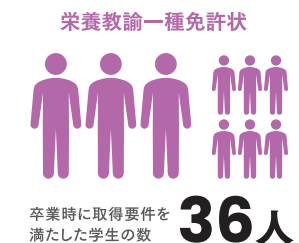
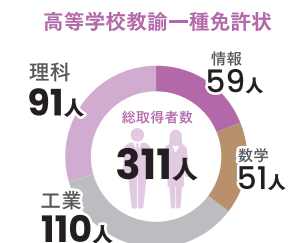
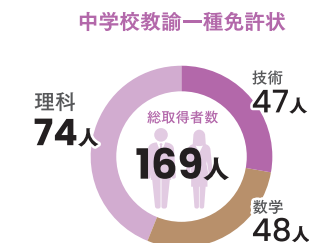
神奈川県内外の中学校や高校で「先生」として活躍する卒業生が増えています。その一つには、教員を目指す学生を支援する本学教職教育センターの取り組みがあります。教員採用試験対策講座や、一人ひとりの志望や進度に合わせた個別指導などのサポートを通じて、学生の夢の実現を後押ししています。

■ 神奈川工科大学で取得可能な教員免許状

教員免許状の種類	中学校教諭一種免許状			高等学校教諭一種免許状				栄養教諭一種免許状	養護教諭二種免許状
学科名/教科	技術	数学	理科	工業	数学	理科	情報		
機械工学科	●	●		●	●				
電気電子情報工学科	●	●		●	●				
応用化学生物学科			●	●		●			
情報工学科							●		
看護学科									●※
管理栄養学科								●	

※「養護教諭二種免許状」は、保健師免許を有し、指定科目を修得する必要があります。

■ 免許状取得者数実績(2016年度以降)



教職教育センター
オリジナルサイト

卒業生VOICE 教員として活躍する卒業生

生徒の一番近い大人として
共に成長していく関係を築きたい



神奈川県立厚木清南高等学校勤務
理科教諭
片倉 友弥 さん
工学研究科 応用化学・
バイオサイエンス専攻 2023年3月修了
工学部 応用化学科 2021年3月卒業

学科での学びがすべて活かしている
栄養教諭の仕事のやりがい



熱海市立多賀小学校勤務
栄養教諭
田代 紅々菜 さん
健康医療学部 管理栄養学科
2024年3月卒業

誰一人取り残さない授業を目標に
指導力の向上に努めています



神奈川県立向の岡工業高等学校勤務
電気科教諭
船木 滯 さん
情報学部 情報ネットワーク・
コミュニケーション学科
2026年3月卒業

入学当初から教員志望で、教育実習で一生懸命な生徒たちに心を打たれ、その思いが一層強くなりました。一方で、山口淳一教授の下で専門的な研究のやりがいや意義を学ぶことが、「将来の授業」に役立つと考えて大学院に進学。教職教育センターの先生方には、大学院生になってからも親身にサポートしていただきました。その中で、先生方からお聞きした「大人が生徒を信じ続けることが大切」という言葉が印象深く、教員となった今、私自身も「どんなときも生徒のため」をモットーにしています。生徒が自信を高め、表情が変わり、成長する姿に喜びを感じます。今後も生徒の一番近い大人として、共に成長していく関係を築きたいです。

公立小学校の栄養教諭として、献立作成や栄養管理、食に関する指導などを行っています。どの業務でも学生時代に学んだ知識や経験が活かされていて、特に献立作成では、毎月新しいメニューを作成しようと工夫しています。また、卒業研究で身につけた動画制作の技術を活かし、「給食ができるまで」の様子を動画にまとめたところ、子どもたちから良い反応が得られました。

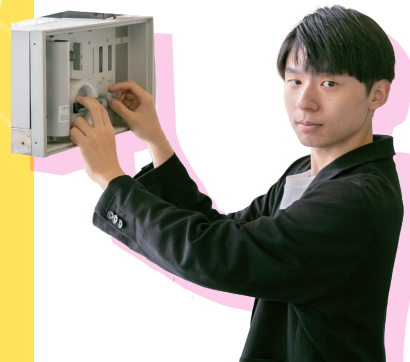
栄養教諭は採用人数が少ない「狭き門」です。教員採用試験の対策では、教職教育センターの直前講座を受講し、二次面接の練習も何度も重ねました。「面接では笑顔を大切に」「経験の裏付けがある発言を」など、先生方からの励ましの言葉に支えられたことを今でも覚えています。

今春、工業高等学校に新任教員として着任しました。現在は電気科1年生の3クラスの授業を担当しており、誰一人取り残さない授業ができるよう、先輩教員からの指導や県の研修会での学びを通して、指導力の向上に努めています。また、長年続けてきた剣道の経験を活かし、剣道部の指導にも携わっています。教員採用試験では、教職教育センターの先生方からさまざまな助言をいただき、神奈川県工業科教員を目指す決意ができました。念願の教員となり、充実した日々を送りながら、そのやりがいを実感しています。将来、担任を務めた時には、生徒との信頼関係を大切にし、生徒が安心して相談できる教員を目指しています。

*2026年度現在、教員免許状が取得できる情報学部の学科は情報工学科(情報)のみです。

KAIT 研究室訪問

現在、神奈川工科大学では約130もの研究室が各分野の研究に取り組んでいます。
研究室に所属する学生たちは実験や検証に粘り強く取り組み、その結果から導き出した成果を携えて国内外の学会などで発表をするなど果敢に挑戦しています。
日々、どのような研究に取り組み、どのように社会に貢献したいと考えているのか、学生の「研究する姿」をお伝えします。



川村 健斗 さん
工学部電気電子情報工学科4年
電気応用研究室所属
(指導教員:瑞慶覧 章朝 教授)

電気を使った環境問題の改善を目指して 空気清浄機の開発に取り組んでいます

ナノ秒パルス高電圧*を用いて、空気中の汚れを効率的に除去する空気清浄機の研究開発に取り組んでいます。入学前から興味を持っていた「電気を使用して環境問題の改善に貢献する研究」をしたいと考え、3年前期の「特別プロジェクト」で、電気応用研究室を選択し、この研究の基礎実験を開始しました。

研究では、レーザーを用いて空気中の粒子を可視化し、ハイスピードカメラで撮影した映像から粒子の軌道を解析しています。当初は戸惑うことばかりでしたが、指導教員の瑞慶覧先生や大学院生の先輩に相談しながら手順や機器の操作を習得し、知識と理解を深めてきました。

現在は、電気の知識や理論を用いて実験装置の設計・製作ができるようになり、専門的なツールも扱えるようになりました。最近では、企業から依頼された装置内で粒子を可視化し、集塵の様子を撮影する実験を任されるようになり、責任の重さと同時に自身の成長を実感しています。今後は応用分野の研究に取り組み、大学院でも本研究を継続していく予定です。

*ナノ秒パルス高電圧
10億分の1秒という極めて短い時間(ナノ秒)に局限して瞬間的に印加される、キロボルト(kV)以上の高電圧パルスのこと



家族の肌の悩みを解決したいという思いで取り組む 化粧品に関する研究



コラーゲンペプチドが持つ「細胞のストレスを和らげる作用」のプロセスを解明する研究をしています。母の肌の悩みを少しでも解決したいという思いから選んだ研究テーマで、コラーゲンペプチドが肌の老化にどのように関与しているかを明らかにすることで、将来的には化粧品への応用を目指しています。

化粧品に興味を持ったのは高校時代です。母が使用していた化粧品のパンフレットを読み関心を持ちました。大学では「化粧品を通して肌の老化について学びたい」と考え、化粧品に関わる研究をしています。

いる学科を調べ、本学に入学。そして専門的に学べるこの研究室を選びました。

現在は、指導教員の井上先生にアドバイスをいただきながら、細胞培養の基礎となる「継代*」の操作練習に取り組んでいます。細胞実験ではスケジュール管理が重要なため、実験手順を理解し、計画的に行動する力を養っています。教職課程とも両立しながら進めているため、研究のメンバーに支えてもらいながら、日々研究に取り組んでいます。

*継代:細胞を新しい培地に移す操作で、細胞のさらなる増殖を可能にする方法。

新名 沙菜 さん
応用バイオ科学部
応用バイオ科学科4年
老化・疾患生物学研究室所属
(指導教員:井上 英樹 教授)



KAITの演習・ユニット授業を訪問!

神奈川工科大学では、講義で学んだ知識を実験・演習を通して定着させ、専門知識と技術の理解を深める学習プログラムを実施しています。今号では、前期カリキュラムで行われた3学科の特徴的な授業を紹介します。

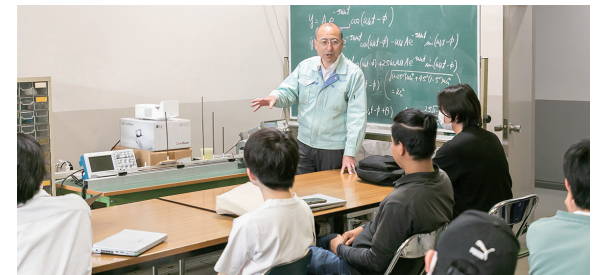
工学部 機械工学科 4年次前期(選択科目)

「機械力学Ⅲ」

～ものづくりを支える技術者に求められる考察力や応用力を養う～

「機械力学Ⅲ」では、機械や構造物の安全性や性能に大きく関わる「振動」について学びます。振動は、自動車や鉄道、家電製品、建築物など、私たちの身の回りにあるさまざまなものに関係しています。

この科目では、講義で学んだ「多自由度系の振動特性」の理論が実際にどのように現れるのかを実験を通して確認し、データを用いて複雑な振動現象を解析。さらに、その結果と考察をレポートにまとめて理解を深めます。このような専門的な学びを通じて、理論と実践の両面から理解を深めるとともに、将来ものづくりを支える技術者に求められる考察力や応用力を養います。



情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 2年次前期(必修科目)

情報ネットワーク基礎ユニットI

～ネットワーク技術者に必要な基礎的な知識・技術の習得を目指す～

情報ネットワーク技術者に必要な基礎的な知識・技術の習得を目指す授業で、より専門的になる3年次必修科目の基礎となる内容です。

授業では「ネットワーク実験」「ソフトウェア演習」「仮想環境実験」の3分野の演習・実験を各4回行い、各回でレポートを提出します。ネットワーク実験では、小規模ネットワークの運用・管理に必要な技術を学び、ソフトウェア演習では、プログラミング技術の向上と言語構造への理解を深めます。また、仮想環境実験では、仮想化技術を実践的に学習します。これらを通して、学んだ内容を説明する力や報告書(実験レポート)を適切に書く力も養います。



健康医療科学部 看護学科 4年次前期(必修科目)

災害看護活動論「トリアージ*実働訓練」

～救護活動に必要な情報共有や連携を実践的に学ぶ～

3年次の「災害看護学」で学んだ基礎知識をもとに、4年次に学習する「災害看護活動論」での実践的な演習です。

訓練では、トリアージ担当、病院スタッフ、傷病者の役に分かれ、災害現場を再現した講義室で救護活動の演習を行います。傷病者の状態を確認して優先順位を判断する「トリアージ」だけではなく、救護活動に必要な情報共有や連携も実践的に学びます。この演習を通して、学生たちは災害時に必要な判断力を養うとともに、災害看護を学んだ看護職の役割についての理解を深めます。また、傷病者役を体験することで、被災した人の立場や気持ちへの理解を深めることも目的の1つです。

*トリアージ:災害時などに多数の傷病者が出た場合、治療や処置の優先順位をつけ、分類を行うこと。



神奈川工科大学の 海外研修・ 留学プログラム

『オンリー・ワン』プログラムで 異文化に触れてみよう！

神奈川工科大学では語学力の向上や海外文化に触れるために協定大学でのオリジナルプログラムによる海外研修・留学プログラムを用意しています。

留学先での授業の様子



海外研修で実感した 外国語をコミュニケーションのために学ぶ楽しさ

英語を話す環境に身を置き、英語に慣れたいと思ったことが、特別専攻海外研修(ICT)に参加した理由です。現地では私たちのバディを務めてくれた学生と、多くの交流ができました。研修先のバンコク大学では、一緒に英語でICTを学び、AIを活用した新サービスの開発にも取り組みました。アイデア出しから発表まで英語で行うため、苦戦することもありましたが、今後役立つ良い経験ができたと感じています。また、バディとは「日本語を教えタイ語を学ぶ」機会も多く、外国語を学ぶことへの抵抗感が薄れました。帰国後も交流が続いていて、タイ語を調べながらLINEでの会話を楽しんでいます。以前は自分にとって英語は「勉強」で、タイ語は挨拶程度でしたが、海外研修を通してコミュニケーションのために外国語を学ぶ楽しさを実感しました。今後はTOEICのスコア向上を目指すとともに、こうした素敵なお縁ができるよう国籍を問わず多くの人と積極的に交流していきたいです。

■参加プログラム:特別専攻海外研修(ICT)*海外情報工学研修Iと同じ内容

バンコク大学(タイ)にて1カ月間、英語で専門分野の研修を受ける実践的なプログラム。



安藤 さくら さん
情報学部 情報工学科4年

神奈川工科大学 海外研修・留学プログラム

■海外異文化研修プログラム【夏期休暇期間 2週間】

マレーシア異文化研修(研修先:国立ブトラ大学)
対象:全学科

■海外英語研修プログラム【春期休暇期間 1ヶ月】

研修先:サウスアトール・カレッジ(アメリカ)
対象:全学科

■海外留学プログラム【3年次後期・半年間】

研修先:シアトル・カレッジ(アメリカ)
対象:機械工学科、応用化学科、応用バイオ科学科、応用化学生物学科

■海外専門分野研修プログラム【春期休暇期間:1ヶ月】

- ①研修先:サウスアトール・カレッジ(アメリカ)
対象:機械工学科、応用化学科、応用バイオ科学科、応用化学生物学科
- ②研修先:デジペン工科大学(アメリカ) 対象:情報メディア学科
- ③研修先:バンコク大学(タイ) 対象:情報工学科
- ④研修先:チュロンコン大学(タイ) 対象:情報工学科
- ⑤研修先:UTAR大学(マレーシア)【春期休暇期間:10日間】
対象:情報システム学科、ロボット・メカトロニクス学科

※各プログラムの詳細は神奈川工科大学国際課にお問い合わせください。

国際課から



学生たちは、海外研修で英語が未熟でも乗り切れたという経験と同時に、英語に対しての力不足を感じて帰ってきます。その気持ちが英語力向上へのモチベーションにつながっていきます。また、全学対象のプログラムでは、学科・学年を超えた友人ができます。異国の地で共に過ごした友人とは帰国後も交流が続いています。さらに、就職活動では、英語を必要とする職種にチャレンジできるようになるなど、海外研修での経験は、やがてグローバルなエンジニアになるための力になっていくのだと感じています。



We Moved!

26年春、国際課は学生サービス棟(K2号館)の3階に移動しました。



★★ 学生の活躍 ★★

第9回「AIが走らせる自動運転ラジコンカーレース KAIT Racer GP」を開催

3月21日、第9回「AIが走らせる自動運転ラジコンカーレースKAIT Racer GP」を学内(附属図書館)にて開催しました。本大会には「エキスパートクラス」と「エントリクラス」があり、エキスパートクラスには、県内外から大学生チーム、高校生チーム、社会人チームの合計11チームが参戦。本学機械工学科のチーム「KAIT AI Racing」が優勝しました。エントリクラスには、本学と高大連携を結ぶ高校の生徒たちが、KAIT AI Racingのメンバーから小型AIラジコンカーの操作方法を学んでレースに参加しました。

エキスパートクラスでの優勝、そして、本大会の運営を担当したKAIT AI Racingのメンバーに感想をお聞きました。

■岩原 柚季さん(創造工学部 自動車システム開発工学科4年)

大会の約1週間前にメンバーで相談しながらコースを設営しました。優勝した車体は先輩から引き継いできたもので、先輩たちが積み上げてきたセッティングのすごさを感じています。今後は9月の大会に向けて新たな車体の製作に挑戦していきたいです。

■和田 俊介さん(創造工学部 自動車システム開発工学科4年)

高校生たちに、小型AIラジコンカーのAI学習の方法をレクチャーしました。初めて参加した人も1~2時間で走らせられるようになります。AI学習は失敗することもあるので、高校生からは「成功したときの達成感が大きい!」などの感想がありました。

【エキスパートクラス】

優勝「KAIT AI Racing」:(神奈川工科大学機械工学科)
コンクールデレガンス(デザイン賞):「ひなげし過激団」(神奈川工科大学電気電子情報工学科)

<参加チーム>

川崎工科大チーム、川崎工科大Bチーム、川崎工科大Cチーム(神奈川県立川崎工科高等学校)
豊西オレタチ、豊西アタシタチ(愛知県立豊田西高等学校)、静岡聖光(静岡聖光学院中学校・高等学校)、ひなげし過激団(電気電子情報工学科)、KAIT AI Racing(機械工学科)、チームMMC(明星大学)、RAR(一般)、TatamiRacer(一般)

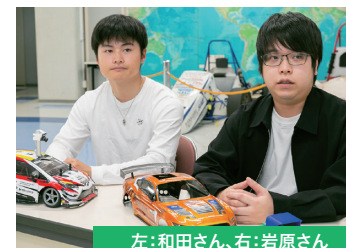
※本大会は、学生が自ら製作した車両・AI・運動制御による性能を競うことで、情報学と工学の融合を学ぶ場を提供し、産業の新たな発展に貢献できる人材を育成することを目的としています。



KAIT AI Racingの皆さん



大会の様子



左:和田さん、右:岩原さん

★★ 教員の活躍 ★★

石綿良三名誉教授が 日本機械学会 教育賞を受賞 — 楽しみながら科学に触れる取り組みが評価 —

4月23日、石綿良三名誉教授が日本機械学会の「日本機械学会教育賞」を受賞しました。石綿名誉教授は、2009年より小中学生から一般の方まで楽しみながら科学や流体の不思議に触れられる実験動画を制作。350本以上の動画が同学会のホームページで「楽しい流れの実験教室」として公開され、中学・高校の授業や部活動、高専・大学の講義、オープンキャンパスなどでも活用されています。また、学校や市民行事での理科教室や「流れのふしぎ展」(機械学会と本学の共催)などの科学イベントでも体験型の実験を実施。子どもたちや市民の皆さんから「楽しかった」「仕組みがよくわかった」との好評を得ています。今回の受賞は、こうした実験動画の制作や理科教室・科学イベントを通して、科学への興味や理解を深める石綿名誉教授の教育活動が高く評価されたものです。



石綿 良三 名誉教授

電気電子情報工学科 三栖貴行教授が テレビ東京「世の中お金で 見てみよう」に出演

5月5日、三栖貴行教授(工学部電気電子情報工学科)が、テレビ東京の番組「世の中お金で見てみよう〜火曜ヨルの学べる経済〜」に出演しました。番組のテーマは「最高値を次々更新“金&銀&銅”の重要性和価格解剖SP」です。

三栖教授は、使用済みのパソコンや携帯電話などから金属材料を回収し再利用する「都市鉱山」のコーナーに出演。実際にノートパソコンを分解し、金が使用されているコネクタやパーツを紹介しました。どの部分に何グラムの金が使われているか、また導電性が高く酸化しにくいといった金の特性や役割についてわかりやすく解説しました。なお、収録は4月に本学で行われました。



三栖 貴行 教授

01 大学院電気電子工学専攻の1年生が
電気学会より論文発表賞を受賞

2月に開催された「電気学会 東京支部支所研究会」で、藪田梨央さんと外石千尋さんが「論文発表賞」を受賞しました。藪田さんは「クラシックギターにおける弦張力の音響特性に与える影響の検討」、外石さんは「太陽光発電システムの並列セルクスタ方式による部分影時出力低下抑制効果」での受賞です。藪田さんは「今後も、楽器の音色改善に貢献するために引き続き精進いたします」と、外石さんは「今後も研究活動に邁進し、自分を成長させていけたらと思います」と抱負を述べました。



藪田 梨央さん



外石 千尋さん

03 ロボット・メカトロニクス学科4年生が
学生奨励賞を受賞

3月に開催された「情報処理学会 第88回全国大会」で、愛川雄大さんと五十嵐俊亮さんが「学生奨励賞」を受賞しました。愛川さんは「今後は研究室からは離れてしましますが、システムの改良を続けて研究をより良いものにしていきたいと考えています」と、五十嵐さんは「今回の受賞を励みに、今後も研究に真摯に取り組み、より良い成果を目指して努力してまいります」と抱負を述べました。

(左)愛川 雄大さん
(右)五十嵐 俊亮さん05 情報ネットワーク・コミュニケーション学科の学生が
優秀学生研究賞を受賞

3月に開催された「コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC)」で、栗原北斗さん(2年)と河野龍之介さん(3年)が「優秀学生研究賞」を受賞しました。受賞した研究は、昨年のCSS(コンピュータセキュリティシンポジウム)で取り組んだ課題を踏まえ、その解決に向けて研究を進めた成果をまとめたもので、サイバーセキュリティ分野におけるAI活用の新たな

02 大学院機械システム工学専攻の
学生2名が情報処理学会研究会で
「優秀論文賞」「優秀発表賞」を受賞

3月に開催された「情報処理学会 第104回高度交通システムとスマートコミュニティ (ITS) 研究会」において、木村尚也さんが「優秀論文賞」を、三宅英斗さんが「優秀発表賞」を受賞しました。木村さんは、自律移動ロボットがスクランブル交差点のような群衆内でも円滑に移動できる新たな方法を提案。「近年のAI活用を中心とした研究トレンドとは異なるアプローチであった点も、関心を持っていただけではないかと感じています」と感想を述べました。三宅さんは、人間の運転スタイルを自動運転に反映する新しい学習法を提案し、「学会発表では、人間のノウハウとAIの高い性能をうまく融合できた点が評価されたのではないかと感じています」と感想を述べました。



木村 尚也さん



三宅 英斗さん

04 ボクシング部が茨城県久慈郡大子町の
小学校で地域貢献活動を実施

ボクシング部が、春合宿でお世話になった茨城県久慈郡大子町にて小学生を対象としたボクシング体験教室を実施しました。日頃ボクシングに触れる機会の少ない子どもたちに、スポーツの楽しさを感じてもらいたいという地元の方々のご要望を受け実現したものです。当日は、部員たちがシャドウボクシングやミット打ちなどの手本を示しながら指導し、小学生の皆さんに実際に体験していただきました。学生たちにとって子どもたちへの指導は楽しく、貴重な経験となりました。



06 名誉教授称号授与式を挙行了しました

6月18日、令和8年度名誉教授称号授与式が執り行われました。井上哲理学長より、以下の3名の方々に名誉教授の称号が授与され、永年に亘り本学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされたことに感謝の言葉が贈られました。

<名誉教授称号 授与者>

高橋 良彦 名誉教授(元情報学部 情報システム学科 教授)

田中 博 名誉教授(元情報学部 情報工学科 教授)

市村 重俊 名誉教授(元工学部 応用化学生物学学科 教授)



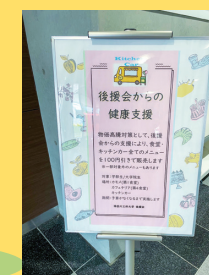
名誉教授称号授与式

07 地区別父母説明会を開催

5月に、地区別父母説明会を、静岡、新潟、水戸、高崎、長野、宇都宮、仙台、郡山で開催し、合計125組、194名の保護者の皆さまにご参加いただきました。当日は、教務課からは、大学での学びの概要と卒業までの道筋について、学生課からは、学生生活における注意喚起と学生支援の仕組みについて、キャリア就職課からは、現在の就職状況や就職活動のスケジュールについて説明しました。特に、各地区の就職情報や家庭での就職活動支援に関する話題に高い関心が寄せられました。次回は、9月12日(土)に、大学キャンパスにて「父母説明会・個別相談会」の開催を計画しております。

後援会からの
健康支援補助について

今年度も後援会からの支援により、物価高対策として、学内の食堂およびキッチンカーの全てのメニューを学生に限り100円引きで販売しています。

New Teachers /
着任の挨拶

今年度、神奈川工科大学に
着任された先生方を
ご紹介します。

健康医療科学部
看護学科
助教
若杉 慶嗣

この度、看護学科に着任いたしました若杉慶嗣と申します。長年臨床に携わり、精神疾患を抱える方々の意思決定を支え、その人らしい療養を支える看護のあり方を探求してまいりました。本学では、その経験を活かし、精神看護の魅力と奥深さを学生の皆さんに伝えられるよう取り組んでまいります。精神の健康は誰にとっても大切なものです。学生の皆さんとともに考え、成長できる環境を大切にしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◎専 門：精神看護学
◎担当授業：精神看護援助論、精神看護活動論、精神看護学実習、コミュニケーション論など

健康医療科学部
管理栄養学科
助教
細川 多香子

4月より管理栄養学科に着任いたしました、細川多香子と申します。臨床栄養学は、病態に基づいた栄養管理を通して栄養状態の改善をめざし、生活の質の向上につなげる実践的な学問です。学生の皆さんには、臨床現場で求められる客観的な視点と判断力を身につけ、多様な領域で専門性を発揮できる管理栄養士へ成長してほしいと考えております。そうした学びと成長の一助となるよう、教育・研究活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

◎専 門：臨床栄養学
◎担当授業：臨床栄養学Ⅳ、臨床栄養学実習Ⅰ、専門演習など

*受賞のニュースにおける学生の学年はいずれも2026年3月当時です。

OFFICE INFORMATION

大学からのお知らせ

経営管理本部

総務課

■ 理事・評議員の退任について

【理事退任:1名】

(2025年12月28日付:1名)

中込 寛

【評議員退任:1名】

(2026年 1月12日付:1名)

野村 高男

学生支援本部

教務課

■ 今後の主な予定

授業日、補講日等の予定については、次頁「学年暦」および大学HP内に掲載の年間スケジュール(https://www.kait.jp/education/2026_schedule.pdf)をご参照願います。

【前期学事予定】

悪天候等により「臨時休講」とした場合、年間スケジュール等を変更することがあります。
<前期授業終了日> 7月30日(木)
<前期授業補講日>

7月31日(金)～8月3日(月)

<前期到達度確認試験等>

8月4日(火)～8月5日(水)

<学生夏期休暇期間>

8月6日(木)～ 9月15日(火)

※学生夏期休暇期間中に集中講義、前期到達度確認に関する追評価・再評価等を実施する科目もあります。

<前期学業成績の公開>

9月8日(火)予定

ご利用については、4月末にお送りした「保護者ポータルサイトのご案内資料他」をご覧ください。IDとパスワードを紛失された場合は、教務課(kyoumu@kait.jp)までご連絡ください。

【後期学事予定】

<後期ガイダンス> 9月16日(水)、17日(木)

※ガイダンスの 内容 については、決定次第(8月7日(金)頃を予定)KAIT Walkerにてご案内いたします。

<後期科目履修変更・キャンセル期間>

9月16日(水)～9月30日(水)

<後期授業開始日(学部・大学院)>

9月24日(木)

※一部学科により、後期授業開始日を変更することがあります。

※学籍異動(後期休学・退学)に関する手続きは、9月30日(水)までに完了する必要があります。手続きを検討される場合は、教務課(kyoumu@kait.jp)までご連絡ください

教職教育センター

教職課程履修ガイダンス、令和8年度実施の公立学校教員採用試験等について

<新入生向けの教職課程履修ガイダンス>

本学で教員免許状が取得できるのは機械工

学科、電気電子情報工学科、応用化学生物学科、情報工学科、管理栄養学科の5学科ですが、新入生対象の「教職課程履修ガイダンス」には5学科全体の約3割にあたる181名が参加しました。

当日実施したアンケートによれば、「将来、先生になりたいから」を選択した学生はまだ少数でしたが、「将来の進路の選択肢を広げたいから」「就職に役立つと思うから」を選択した学生が大変多く、新入生のキャリア意識の高さがうかがえました。

<令和8年度実施の公立学校教員採用試験>

今年度も採用試験の早期化が続いています。5月9日(土)に行われる静岡県と静岡市・浜松市を皮切りに、翌10日(日)の茨城県と続きます。例年、本学で最も多くの学生が受験する神奈川県は7月5日(日)に実施されます。

そのため、1次試験対策として「前期対策講座」を4月21日(火)～6月2日(火)、予備校講師による「直前対策講座」を6月15日(月)～6月26日(金)にそれぞれ実施しました。

次に、2次試験に向けては、7月25日(土)・26日(日)、8月1日(土)・2日(日)の4日間にわたって、「個人面接」「模擬授業」の対策を集中的に講じます。現役生はもちろん現場で働く既卒生も交えて互いに切磋琢磨します。その間の7月29日(水)には、現役生の対応能力をさらに高めるための対策も用意しています。

<次へ続く3年生以下の取組み>

次年度以降、教員採用試験にチャレンジする3年生から1年生を対象とした「スターティングガイダンス」を7月1日(水)に実施します。この日をもって、令和9年度以降の受験に向けたスタートを切ることを意識付けさせます。8月31日(月)～9月11日(金)には予備校講師による「夏期集中講座」が開講されます。

学生課

■ 第51回幾徳祭について

11月7日(土)、8日(日)に第51回幾徳祭(学園祭)が開催されます。学生が地域の皆様と楽しく触れ合う貴重な機会であり、当日に向けて学友会執行部、イベント局、参加各団体の学生が準備に取り組んでおります。準備状況も含めて以下の公式ホームページで幾徳祭の情報を公開して参りますので、ぜひ、ご覧ください。

【第51回幾徳祭ホームページ】

※7月中旬より公開予定

■ 第48回後援会総会について

幾徳祭の初日、11月7日(土)に第48回後援会総会を開催いたします。在学生のご父母の皆様方におかれましては、幾徳祭に合わせてご来学、ご出席ください。なお、後援会総会の詳細につきましては、10月上旬にご案内状をお送りいたします。

「父母説明会・個別相談会」開催について

本年も神奈川工科大学にて「父母説明会・個別相談会」を実施いたします。詳細のご案内は 8 月にお送りいたします。



日 程：9月12日(土)

場 所：神奈川工科大学

キャリア就職課

■ 9月以降の就職活動支援

【2027年卒生(学部4年生・院2年生)対象】

※看護学科、臨床工学科を除く

◎個別企業説明会(対面・オンライン)

詳細は、本学HP「KAIT Career」参照

【2028年卒生(学部3年生・院1年生)対象】

※看護学科、臨床工学科を除く

◎ 9月開催:業界研究フェア(対面)

日 程:9月18日(金)13:00～17:00

場 所:レンブラントホテル厚木 3階「相模」

◎2日間集中 面接対策実践研修(対面)

日 程:10月の実施を検討中

場 所:学内開催

【2029年卒生(学部2年生)対象】

※看護学科、臨床工学科を除く

◎9月開催:業界研究フェア(対面)

日 程:9月18日(金)13:00～17:00

場 所:レンブラントホテル厚木 3階「相模」

◎就活基礎動画をオンデマンド配信中。

大学HP「KAIT Career」(学内生向けページ)からアクセスできます。

【その他の就職支援イベント】

◎看護学科対象キャリア就職支援講座

(第4・5回)

日 程:11月16日(月)・20日(金)2限

◎ハローワーク相談会

(ハローワーク厚木共同開催)

(対面)毎月2回開催

日 程:9月30日(水)、

10月8日(木)、21日(水)

◎公務員対策講座<後期講座>(対面)

日 程:9月19日(土)～12月12日(土)

2026年度 学年暦(2026年7月～2027年3月)

※変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。

7月

20日(月・祝) 海の日(通常授業日)

30日(木) 前期授業終了(学部・大学院)

31日(金) 補講日

8月

1日(土) 臨時補講日

3日(月) 補講日

4日(火) 試験日

5日(水) 臨時補講日

6日(木) ～9/15(火)学生夏期休暇期間

11日(火・祝) 山の日(休日)

12日(水) 事務室夏期一斉休業～8/18まで

9月

12日(土) 大学実施:父母説明会・個別相談会

16日(水) 後期ガイダンス

17日(木) 後期ガイダンス

18日(金) ガイダンス予備日・個別指導(補講日)

19日(土) 補講日

21日(月・祝) 敬老の日(休日)

22日(火・祝) 国民の休日(休日)

23日(水・祝) 秋分の日(休日)

24日(木) 後期授業開始(学部・大学院)

10月

12日(月・祝) スポーツの日(通常授業日)

11月

3日(火・祝) 文化の日(休日)

5日(木) 幾徳祭準備

6日(金) 幾徳祭準備

7日(土) 幾徳祭

8日(日) 幾徳祭

9日(月) 幾徳祭片付け

18日(水) 補講日

23日(月・祝) 勤労感謝の日(通常授業日)

12月

24日(木) 補講日

25日(金) 補講日

26日(土) ～1/6(水)学生冬期休暇期間

事務室冬期一斉休業～1/5まで

2027年 1月

7日(木) 授業再開

11日(月・祝) 成人の日(休日)

14日(木) 補講日

15日(金) 休講日

16日(土) 大学入試共通テスト

17日(日) 大学入試共通テスト

25日(月) 後期授業終了

26日(火) 試験日

27日(水) 試験日

29日(金) ～3月下旬 学生春期休暇期間

30日(土) 一般入試A日程

31日(日) 一般入試A日程

2月

1日(月) 一般入試A日程

11日(木・祝) 建国記念の日(休日)

23日(火・祝) 天皇誕生日(休日)

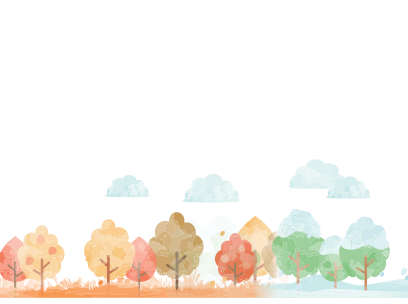
26日(金) 一般入試B日程

3月

21日(日・祝) 春分の日 学位記授与式・卒業式(学部・大学院)

22日(月・祝) 振替休日

台風による臨時休講のため、本誌発行後に学年暦の一部に変更が生じています。



第20回 ITを活用した教育研究シンポジウム2025を開催

2026年3月18日

3月18日、本学にて「第20回 ITを活用した教育研究シンポジウム2025」が開催されました。本学では2006年度より本シンポジウムを開催しており、多くの教員がITを活用した教育手法の研究成果や実践事例を発表し、その成果やノウハウを共有することで、教育効果のさらなる向上を図っています。

開会の挨拶では井上哲理学長が、社会のできごとやIT技術の変遷にふれながら、20年間の発表内容の変化を紹介。「活用の基となる技術は大きく変化していますが、それらを教育に取り入れて『ITを活用する』ということは変わりません。本日は発表内容から、今起きていることや今後起こりうることを感じ取り、情報の共有をしていただければと思います」と述べられました。



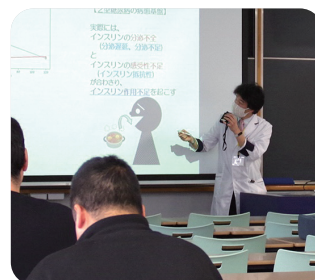
井上学長の挨拶

基調講演

三谷商事株式会社 岡崎俊明氏(SI文教部門 東京文教営業部 担当部長)、続いて、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 川戸渉氏(パブリックセクター技術統括本部 教育・研究技術本部 ソリューション アーキテクト)より、それぞれの会社が手がける大学DX事業についてご講演いただきました。また、基調講演終了後には会場内にブースを設け、ご相談に応じていただきました。

一般講演

6分野29件の研究発表が、3つの会場に分かれて行われました。ITを活用した各種教育法の研究・実践報告に加え、今回初となるオーガナイズドセッション「先進AIと教育×医療×地域」を実施。大学院生・学部生による研究発表は9件ありました。どの発表も質疑応答が活発に行われ活気のあるシンポジウムとなりました。



令和7年度 学位記授与式(修了式・卒業式)を举行

3月20日、令和7年度学位記授与式(修了式・卒業式)が、本学KAITアリーナにおいて举行されました。令和7年度の卒業生は1,029名(学部・大学院)でした。式典の参加は卒業生のみとさせていただき、ご家族の皆様には教室でLIVE配信をご覧いただきました。また、式典後には、各学科にて学位記の授与が行われました。



令和8年度 入学式を举行

4月4日、令和8年度入学式が本学KAITアリーナにおいて举行されました。

ご家族の皆様には、各教室にて式典のLIVE配信をご覧いただきました。

当日はあいにくの天候となりましたが、新入生とご家族が記念撮影をされる様子が各所で見られました。

